

発電所の周辺市町村にお住まいの皆さまへの発電所状況報告会を開催しました

東海発電所の廃止措置の状況、東海第二発電所の新規制基準への適合性確認審査及び安全対策の状況などについてご報告しました。お忙しい中ご参加をいただいた皆さま、誠にありがとうございました。

報告会の概要、皆さまからのご質問やアンケート結果などについてお知らせします。

状況報告会の概要

- 開催期間 平成28年10月14日（金）～11月30日（水）
 - 開催市町村 東海村、ひたちなか市、日立市、常陸太田市、水戸市、那珂市、大洗町、常陸大宮市、城里町、茨城町、鉾田市、笠間市、大子町、高萩市、小美玉市
 - 開催数（参加者数） 25回（760名）
 - 主な説明内容
 - ・東海第二発電所の新規制基準への適合性確認審査の状況
 - ・東海第二発電所の安全対策への取り組み
 - ・東海発電所の廃止措置の状況（L3廃棄物※の埋設施設の計画を含む）
- ※廃止措置等により発生する低レベル放射性廃棄物のうち放射能レベルの極めて低いもの



発電所の状況をご報告しました。



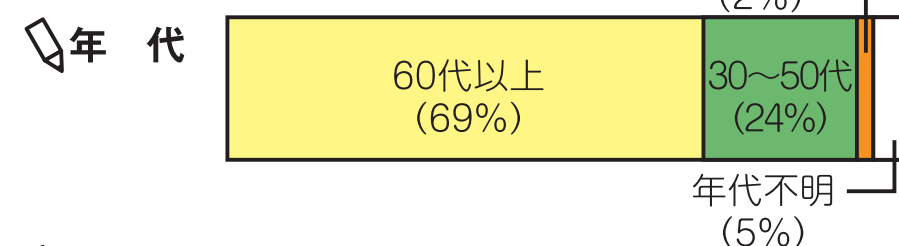
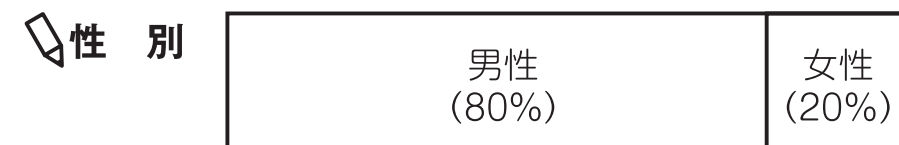
皆さまからのご質問に回答しました。

アンケート結果

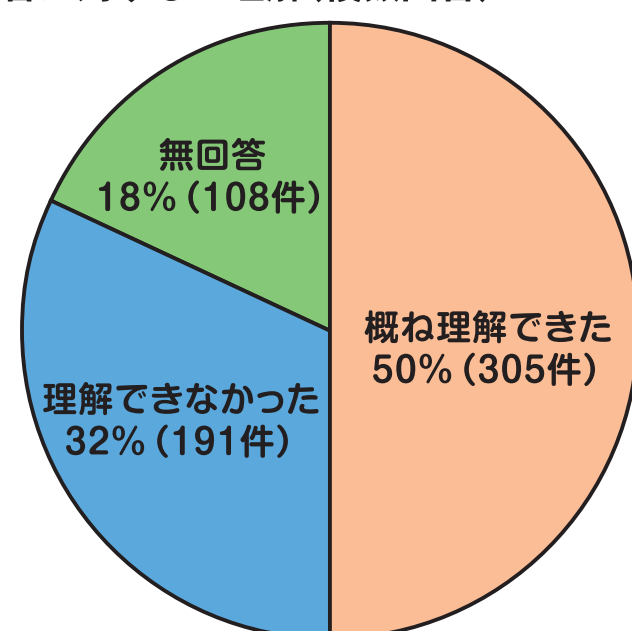
多数のご意見・ご質問、アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたご質問やご意見を発電所の運営等に役立てていくとともに、アンケート結果を踏まえ、これからもわかり易い情報提供に努め、ご理解いただけるよう取り組んでいきます。

📄 アンケート回収数：590名／760名

📄 回収率：78%

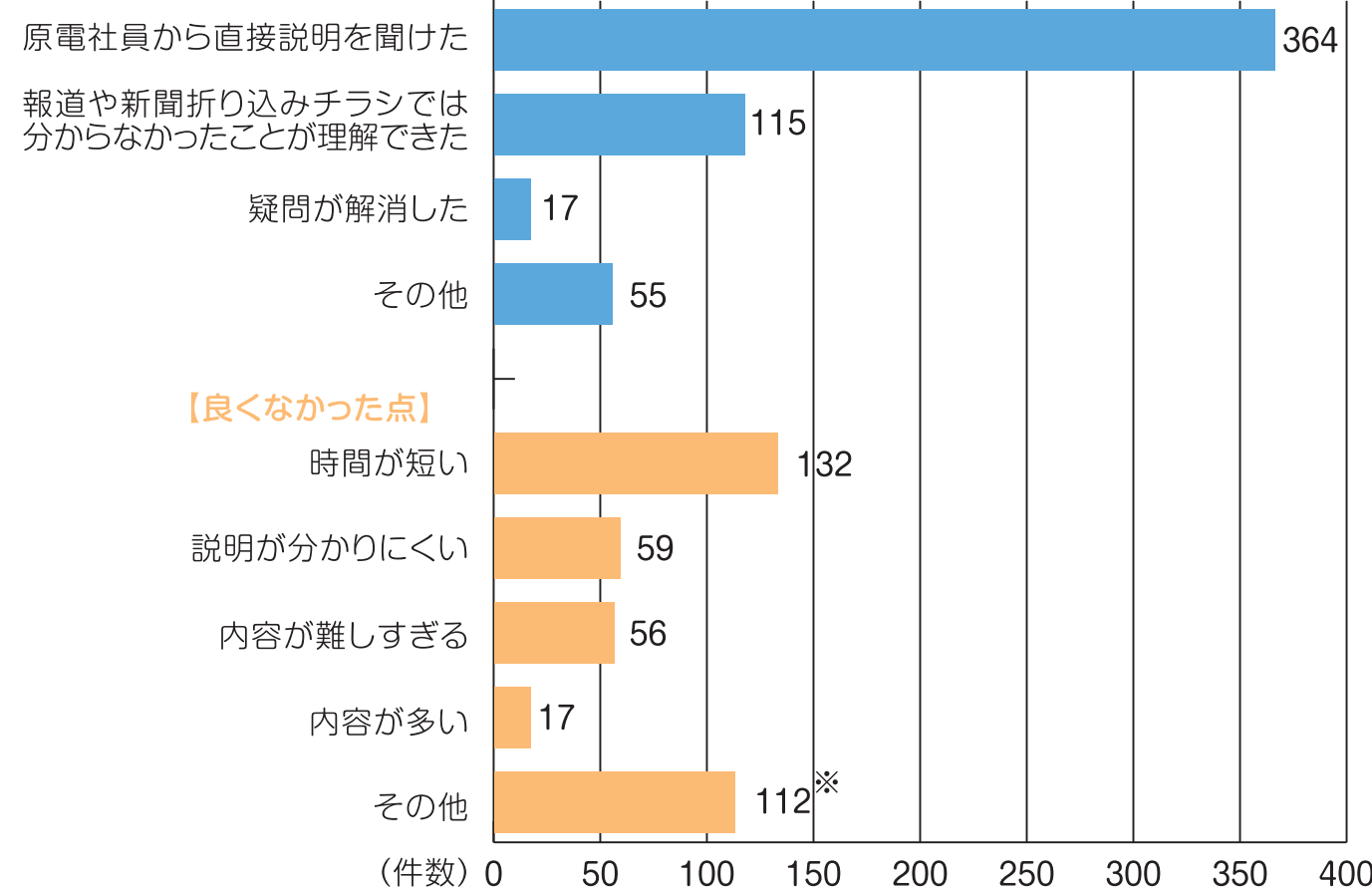


📄 説明内容に対するご理解（複数回答）



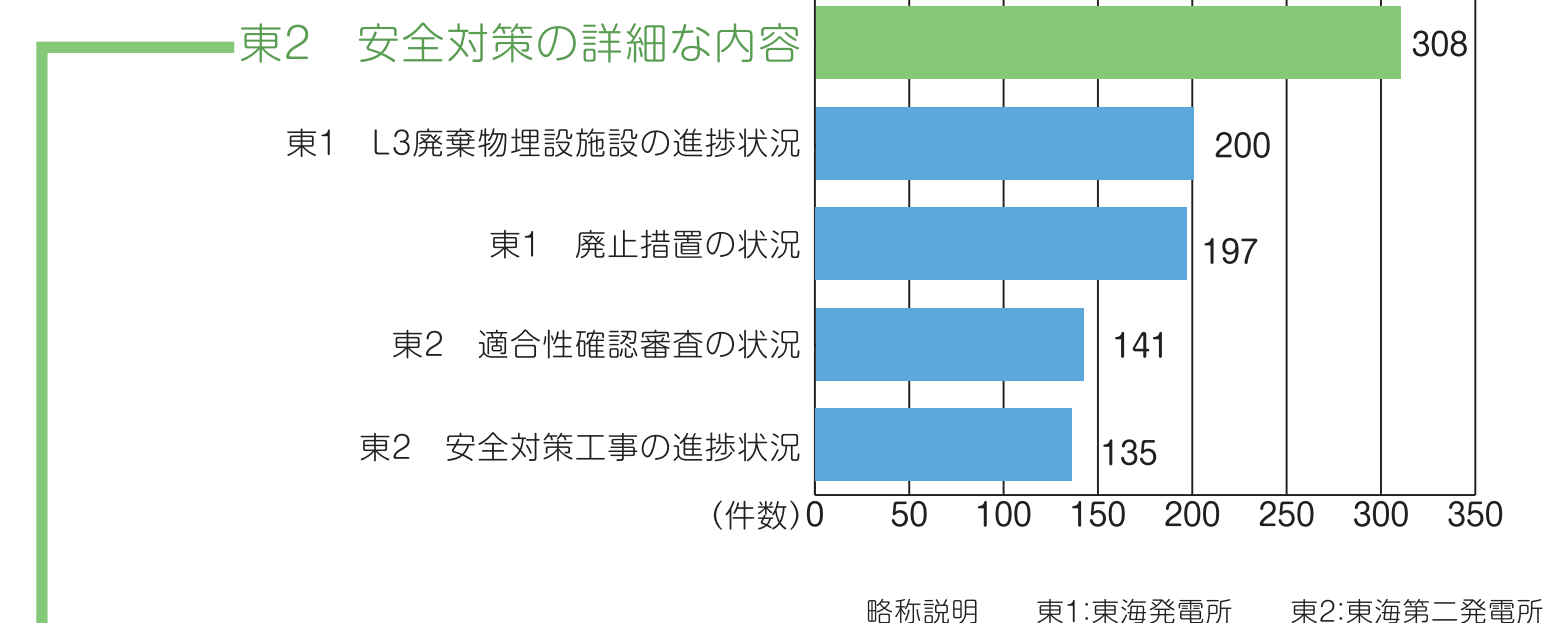
📄 参加されてのご感想（複数回答）

【良かった点】

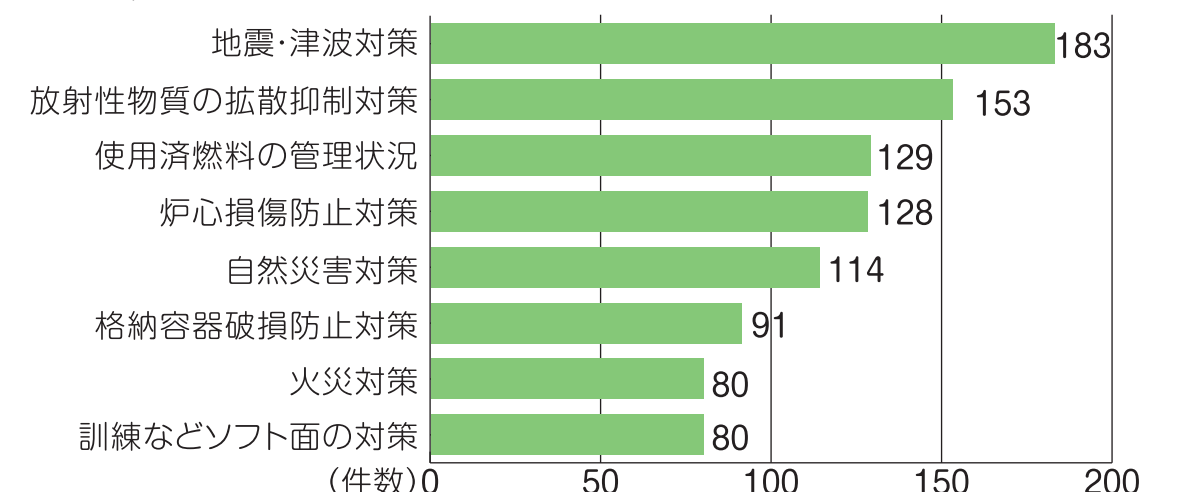


※「説明内容が少ない」、「説明内容を単純化しすぎて分かりづらい」、「質疑の時間が足りない」など、報告会の内容や運営に関するものでした。
今後の運営に反映させていただきます。

📄 今後お聞きになりたい項目（複数回答）



📄 「東2 安全対策の詳細な内容」の内訳（複数回答）

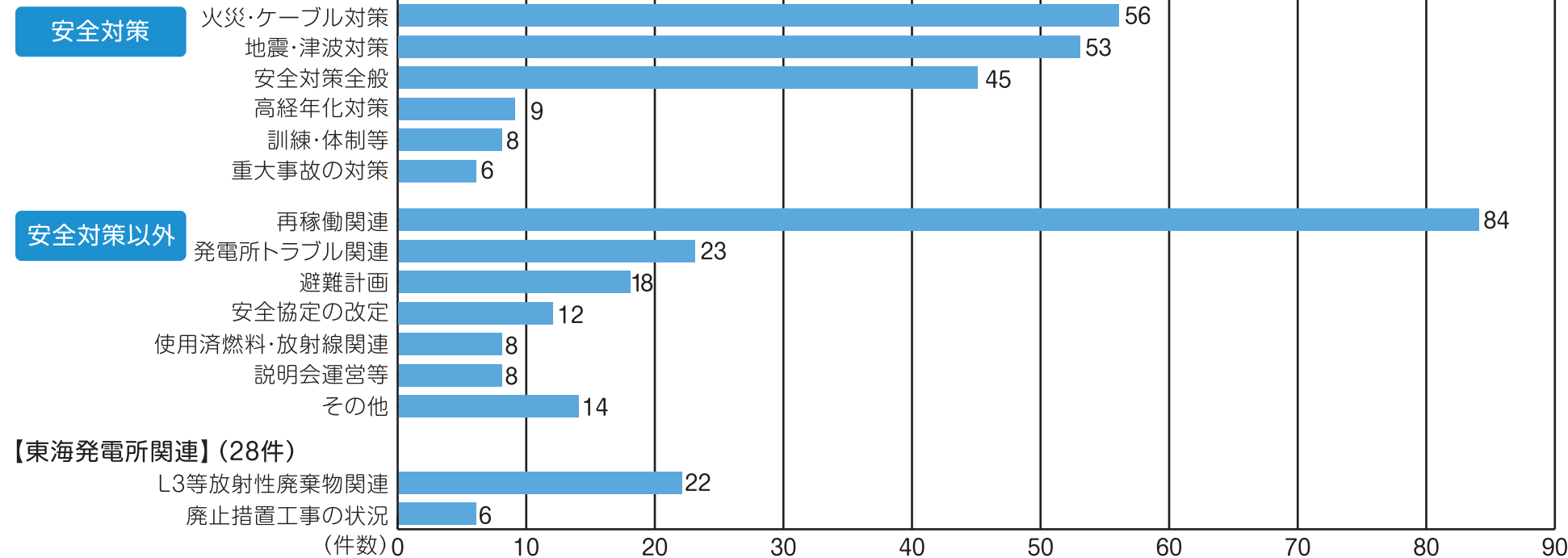


◆新規制基準への適合性確認審査については、安全性向上に資するものであり、再稼働に直結するものではありません。今後とも、地域の皆さまに積極的かつきめ細かく丁寧に情報を提供してまいります。◆

報告会において皆さまからいただいた主なご質問

○会場においていただいたご質問・ご意見等の件数（372件）

【東海第二発電所関連】（344件）



Q：発電所の再稼働や40年を超えた運転について、どのように考えているのですか？

A：東海第二発電所については、まずは**新規規制基準適合性確認審査に係る取り組みを最優先**としており、**再稼働や40年を超えての運転については、現時点でお答えできる段階にはありません。**
なお、東海第二発電所については、運転から30年を迎える時点で高経年化の技術評価を行い、長期保守管理方針をまとめ、これに基づき保守管理を適切に実施しています。

Q：自治体が策定する避難計画に対し、原電はどのように関与するのですか？

A：避難計画については、現在、各自治体にて策定が進められていますが、当社としても、**避難計画の実効性確保や行政が行う地域の原子力防災対策**に積極的に協力していきます。
また、当社の研修施設にて**自治体職員の皆さまを対象とした発電所の構造や放射線防護に関する研修会の開催、万が一の事故発生時の対応に資する技術的な情報提供等**の協力を行っていくほか、要員や資機材等の支援についても検討を進めています。

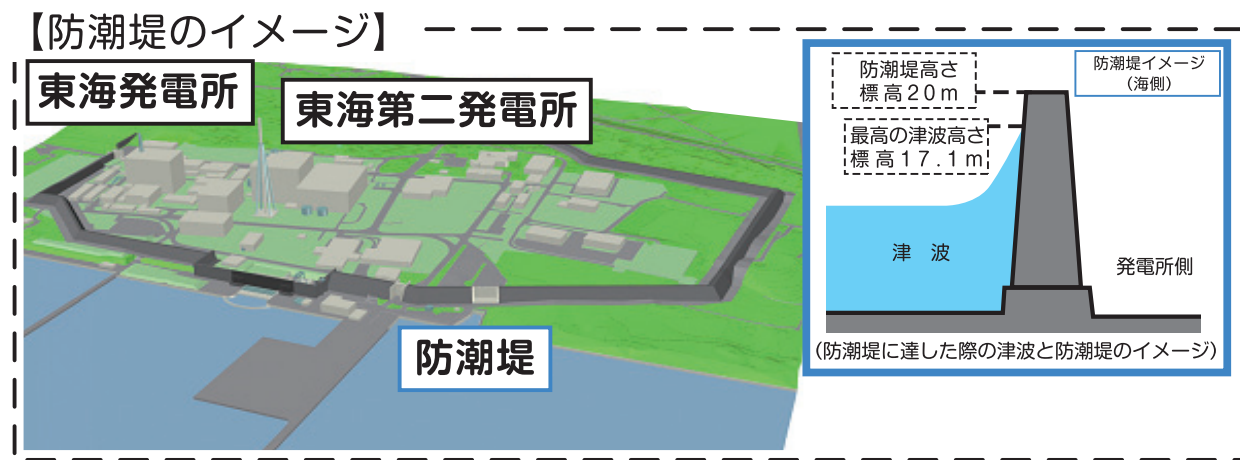
皆さまからのご意見・ご要望

- 原子力規制委員会は安全審査を通っても安全とは言っていない。東海第二は首都圏に近いこともあり、再稼働には賛成できない。
- 発電所周辺の自治体が求めている安全協定の改定について、原電として前向きに検討してもらいたい。
- 6月に発生した東海第二の管理区域内での放射性廃液の漏れについて、今後、こうしたことがないよう、安全な管理に努めていただきたい。
- ケーブル対策について、防火塗料による対策で大丈夫と言っていたものが簡単に方針を転換しており、不安を感じている。
- 東海第二の再稼働はあきらめ、福島原発の廃炉を含めた廃炉のエキスパート会社になってほしい。
- L3のトレンチ埋設については、国際的にも安全性が確認されていることもあり、海外の状況も含めて、概要説明をする時期にきていると思われる。
- 東海発電所の廃炉作業で得られたノウハウや技術を、他の原子力発電所の廃炉にも役立つよう他電力と共有してもらいたい。
- 住民からの意見や質問を受ける時間を設けており、原電社員の努力が感じられる。
- 発電所の専門家からわかりやすく丁寧な説明を受けることができ感謝している。

⇒報告会での様子やご意見等は、当社ホームページに順次掲載していきます。
<http://www.japc.co.jp/shinsei/tokai/tokai4.html>

Q：原電が建設を予定している標高20mの防潮堤を超える津波が発生し、防潮堤を超えてきた場合の対応はどのように考えているのですか？

A：原子力規制委員会の審査会合において、発電所に押し寄せる津波の最高の高さが標高17.1mに決まりましたが、当社が建設を予定している**防潮堤の高さは海側で標高20m**であり、この津波に対して余裕をもった高さとなっています。
さらに、**万が一、防潮堤を超える津波が発生する場合も考慮し、浸水防止対策としてすでに設置を完了した水密扉※**のほかに、重要な設備を守るための対策の実施を考えています。



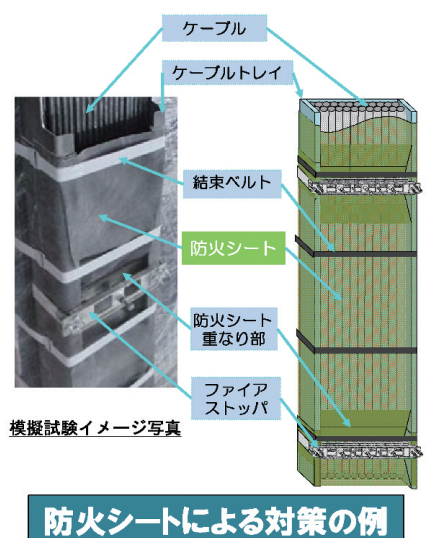
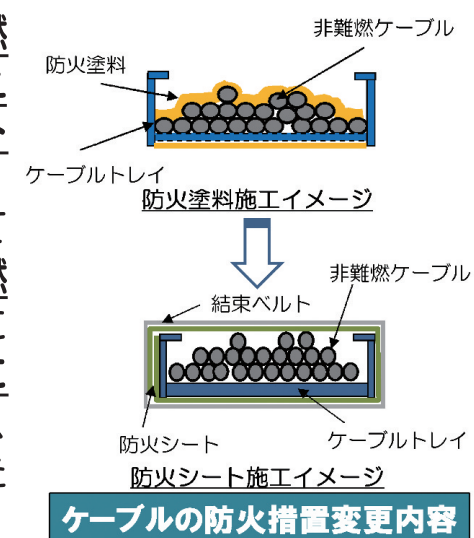
※水密扉



Q：非難燃ケーブルの防火対策を、「防火塗料」から「防火シート」に変更したのはなぜですか？「防火塗料」では十分な防火対策が行えないからですか？

A：非難燃ケーブルの防火対策については、**安全機能を有する機器に接続される非難燃ケーブルは難燃ケーブルに取り替え、取り替えにより悪影響が生じる場合には、防火シートで対応すること**を基本方針としています。
当社は、当初、防火塗料による対策を考えていましたが、**防火シートが防火塗料や難燃ケーブルと同等の防火性能を有することに加え、施工や施工後の維持管理を、より確実に行うことができる工業製品**であることから、非難燃ケーブルの防火対策として採用したものです。

引き続き、こうした当社の考えを原子力規制委員会に説明していきます。



東海テラパークからのお知らせ



東海テラパークでは、安全対策の状況や訓練の様子など、各種パネルやビデオでご紹介しています。

【展示のご案内】

- 「つるし雛展」(ギャラリー・ミニギャラリー)
・平成29年1月12日(木)～3月26日(日)
・9時～16時30分
(2月26日は16時、最終日は15時迄)



可愛らしいつるし飾りや創作人形の展示です。

・所在地 那珂郡東海村白方1-1
・電話 029-287-1252
・休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)および年末年始(12/29～1/3)
・開館時間 9時～16時30分
・入館料 無料

お問い合わせ先
土日祝日を除く 9時～17時



日本原子力発電株式会社 東海事業本部

地域共生部
茨城事務所

茨城県那珂郡東海村白方1-1 TEL:029-287-1250
茨城県水戸市笠原町978-25 TEL:029-301-1511

当社ホームページ 原電 検索
<http://www.japc.co.jp/>